

# 日本 リハビリテーション 病院・施設協会誌



2020年  
特別号  
No.175

## リハビリテーション・ケア 合同研究大会 金沢 2019

### 響生

チームで奏でる保健・医療・福祉のハーモニー

開催日 2019年11月21日(木)～22日(金)

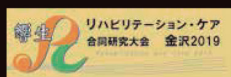
開催地 石川県金沢市 石川県立音楽堂／ホテル金沢  
もてなしドーム地下イベント広場／TKP金沢新幹線口会議室



大会長 | 勝木 保夫 (特定医療法人社団勝木会 理事長)  
副大会長 | 影近 謙治 (金沢医科大学 リハビリテーション医学科 教授)  
勝木 達夫 (やわたメディカルセンター 院長)  
西村 一志 (やわたメディカルセンター 副院長)  
実行委員長 | 池永 康規 (やわたメディカルセンター リハビリテーション科 科長)

主催 | 一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会  
一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会  
一般社団法人 全国デイ・ケア協会  
一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会  
全国地域リハビリテーション研究会  
全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会

写真提供：金沢市



大会事務局／特定医療法人社団勝木会 やわたメディカルセンター  
〒923-8551 石川県小松市八幡イ12番地7 TEL:0761-47-1212 FAX:0761-47-1941  
rehaicare2019@katsuki-g.com  
運営事務局／株式会社 オトムラ  
〒920-0342 金沢市秋田西4丁目67番地 TEL:076-268-3737 FAX:076-268-0212

<b>巻頭言</b>	
リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢 2019 を終えて 勝木保夫	3
<b>大会長講演</b>	
地域で取り組む健康社会—地域と保健・医療・福祉の響生 勝木保夫	6
<b>講演</b>	
リハビリテーションマインド 石川 誠	9
<b>講演</b>	
災害後の生活不活発対策と早期自立・復興支援 栗原正紀	15
<b>講演</b>	
地域包括ケアに資する地域リハビリテーション—病院・施設の地域づくり活動を中心に 浜村明德	20
<b>主催団体シンポジウム</b>	
動き出そう！明日からできる地域リハビリテーションの実践—地域リハ塾の取り組みから 佐藤英雄, 他	25
<b>シンポジウム</b>	
共生社会の実現に向けた私たちのチャレンジ 雄谷良成, 他	35
<b>シンポジウム</b>	
地域の人々と響きあう—共生社会のために医療機関ができること 石川賀代, 他	42
<b>公開講座</b>	
いきいき元気な高齢社会—5つの予防に自らが役立つ 大田仁史	50
<b>お知らせ</b>	
事務局からのお知らせ	55
<b>編集後記</b> 大野重雄	56

# 巻頭言

## リハビリテーション・ケア 合同研究大会 金沢2019を終えて

勝木保夫

特定医療法人社団勝木会やわたメディカルセンター 理事長／本大会大会長

### はじめに

リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢（以下、今大会）は、2019年11月21～22日の2日間、石川県金沢市にて開催させていただきました。特定医療法人社団勝木会やわたメディカルセンター（以下、当院）では、2013年3月の「全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 第21回研究大会 in 金沢」以来、6年ぶりに全国学会を主管させていただきました。大会主管が決定した3年前より、研究大会のテーマを決める作業から始め、示したい方向性や会場運営などについて、実行委員全員で話し合いを重ねてきました。

### 大会に込めた思い

大会テーマは「響生」としました。障がいの有無にかかわらず、すべての人が地域社会の中で、その人らしく共に生きていくこと（共生）は重要です。さらに、少子高齢化時代のあり方として、地域の介護や支援が必要な方々と、医療・介護・福祉に携わるスタッフが、互いの理解と協働のもとにその生活や人となりに関心をもち、生活支援や生活習慣改善を持続して行えるためには、心と心を響かせ、これからの社会を生き抜く響生社会の構築が望まれると考えました。心が響き合うことが、持続可能なケアを生むと信じます。会場が石川県立音楽堂ですので、音の響きと心の響きを掛けて「響き合う」ことを一つのメッセージにして、共生からさらに地域社会で必要となることは、「響生」であるとお伝えしようと思いました。

準備をするにあたり、質の高い内容で参加者に満足いただけることを大前提に、金沢らしさを味わっていただける大会にしようと計画しました。

副大会長には、当院の勝木達夫院長、長年日本



開会式直前のオルガン演奏

テーマである「響生」を象徴するかのようなすばらしいオルガンの響きで研究大会が始まりました。

リハビリテーション病院・施設協会の理事を務めてこられた当院の西村一志副院長、同じく副大会長に金沢医科大学リハビリテーション科の影近謙治教授（現：富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 院長）にお願いし、実行委員長に当院リハビリテーション科の池永康規科長に就いていただいたうえ、石川県内で回復期リハビリテーション病棟を有する6病院（石川県済生会金沢病院、金沢赤十字病院、金沢西病院、金沢脳神経外科病院、木島病院、芳珠記念病院）に大会準備病院として参画していただき、大会組織を固めました。

### プログラム構成

齊藤正身会長をはじめ、全国のリハ・ケアにかかわる多くの先生方のご支援、ご協力により、「響生」の主旨にご賛同いただいた、ご高名な先生方や、地域で革新的なチャレンジを続ける想いの熱い方々を多数お招きすることが叶い、公開講座2、

※このページ以降の誌面をご覧ください。場合は、  
当協会への入会が必要です。

ご入会のお手続きは下記へ



【入会について】

<https://www.rehakyoh.jp/join.html>